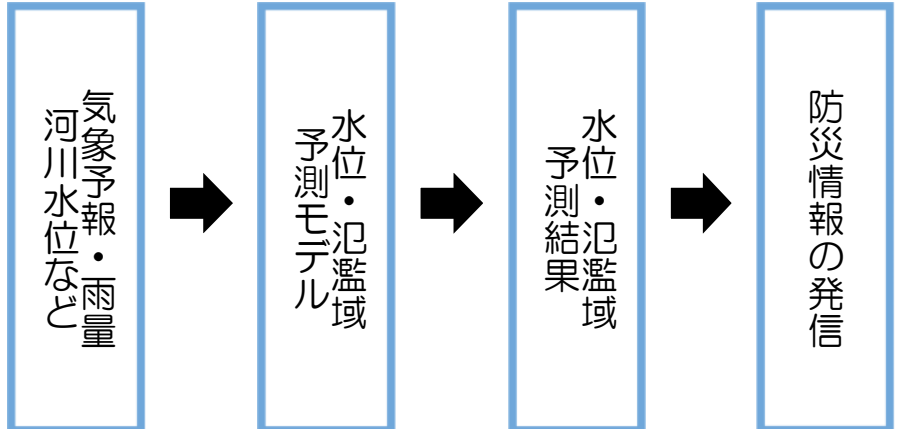


(仮称) 巴川流域水位・氾濫域予測システム構築に向けた研究会の開催

◆アピールポイント	<p>○災害発生時における早期の避難行動につなげるため、気象予報、雨量、河川水位等の情報を基に、河川水位や氾濫域を予測し、その結果を提供するシステムを構築します。 ※本年度6月補正予算案件</p> <p>○システム構築に向け、学識経験者等で構成する研究会を設置し、第1回目の会合を開催します。 【本田副市長 出席有】</p>
◆日時	令和5年11月27日(月) 15時から17時
◆場所	静岡庁舎8階 市長公室
◆内容など	<p>1 システムの概要 早期避難や車などの早期移動が可能となる事前の防災情報について、気象予報、雨量、河川水位等を基に、予測モデルを活用して水位・氾濫域を予測し発信するシステムの構築を目指します。</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  <pre> graph LR A[気象予報・雨量 河川水位など] --> B[水位・氾濫域 予測モデル] B --> C[水位・氾濫域 予測結果] C --> D[防災情報の 発信] </pre> </div> <p>2 研究会での検討内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題の整理 ・他都市先進事例の整理 ・予測モデルの検討 ・予測結果の発信方法の検討 など <p>3 今後の予定 第2回研究会(2月開催予定)を経て、年度内にシステムの試験運用を開始します。6年度にはシステムの精度検証や精度向上を行い、早期の本運用開始を目指します。</p>
◆その他	<ul style="list-style-type: none"> ・冒頭のみ公開とさせていただきます。 ・研究会の会議録等を、後日、市公式ホームページで公開させていただく予定です。

別紙資料 有(研究会概要)

【問合せ】 河川課 (静岡庁舎6階)
 担当 鈴木、石塚、八木
 電話 054-221-1087

【研究会概要】第1回（仮称）二級河川巴川流域水位・氾濫域予測システム構築研究会

1 目的

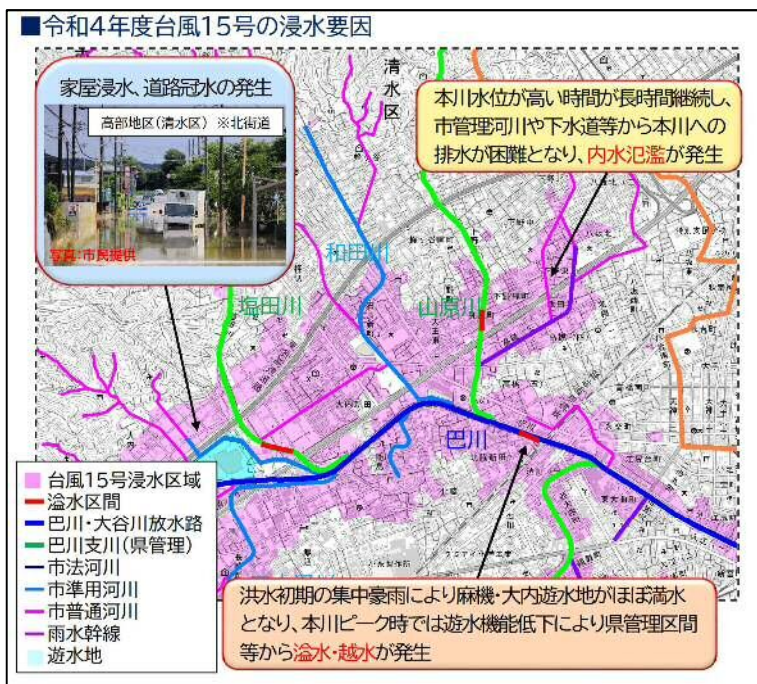
巴川流域では昭和49年の七夕豪雨以降、麻機遊水地、雨水貯留施設整備など、様々な治水対策を河川管理者である静岡県と連携して実施してきました。しかし、令和4年台風15号では417mm/日（静岡地方气象台）の降雨を記録し、床上浸水約3,500戸、床下浸水約1,300戸と甚大な被害を受けました。被災後に実施した静岡市被災者アセスメント調査等では、「家財の2階への移動や自動車の避難をするため、事前に浸水発生や道路冠水に関する情報を得たい」との意見が多数ありました。

そこで、静岡市では数時間後の巴川の水位や溢水した時の氾濫域を予測するシステム構築を検討しております。巴川流域のような中小河川で、氾濫域を予測することは全国的にみても事例が少なく、先進的な取り組みとなります。そのため、以下のように、様々な課題があります。

【課題】

- ①巴川は遊水地や放水路等があり、様々な要素で水位が変動するため、水位予測が難しい
- ②本川の水位が上がり、支川の排水ができないことを原因とする氾濫（内水氾濫）のモデル化が難しい
- ③降雨データ（実況データ・予測データ）は様々あるが、どの配信情報を適用すれば予測精度が確保できるか
- ④洪水予報の市民への提供は、気象業務法の制約を受けるが、どのような解決方法があるのか
- ⑤こういったユーザーインターフェースにすることがわかりやすい情報となるか

学識者、関係機関と共に研究をしていくことで、課題解決していくことを目的としています。



2 研究会構成員

役職	職名等
会長	静岡市 副市長
副会長	静岡市 建設局 次長兼土木部長
委員	京都大学 防災研究所 流域災害研究センター長・教授 川池 健司
委員	京都大学 防災研究所 社会防災研究部門・教授 佐山 敬洋
委員	京都大学 防災研究所 気象・水象災害研究部門・准教授 山口 弘誠
委員	静岡大学 防災総合センター副センター長・教授 牛山 素行
委員	国土交通省 中部地方整備局 河川部水災害予報センター長
委員	一般財団法人河川情報センター 審議役
委員	気象庁 静岡地方气象台 次長
委員	静岡県 交通基盤部 河川砂防局長
委員	静岡市 危機管理総室長
委員	静岡市 上下水道局 下水道部長

3 第1回研究会の次第

1. 開会（会長：副市長）
2. 議事
 - (1) 研究会設置要領について
 - (2) 事務局からの説明①
 - 現状の課題
 - 先進事例
 - 水位・氾濫域予測モデル
 - (3) 討議①
 - (4) 事務局からの説明②
 - 住民周知のための対応方針
 - 予測システムでの表示内容
 - (5) 討議②
3. 閉会（副会長：土木部長）

4 今後の予定

- ①第2回研究会の開催
日時：令和6年2月28日（水）
15：00～17：00
場所：静岡市役所8階 市長公室
- ②令和6年度パイロット運用の開始
- ③令和6年度本運用に向けた設計・構築
※必要に応じ、研究会を開催
- ④早期の本運用開始

